

追悼 加藤幸子氏



撮影: 平原一良



去る3月30日、作家・加藤幸子^{かとうゆきこ}氏が逝去されました。87歳でした。

芥川賞作家でありナチュラリストとしても多方面に活躍した加藤幸子氏は、1936年、札幌生まれ。その後、父の仕事の関係で北京に渡り、この時期の特異な体験が加藤文学の原点となりました。北海道大学在学中は文学と登山に親しむ活動的な学生生活を送り、自然へのまなざしや旅に惹かれる心が大きく育まれていきました。帰京後も、自然保護の市民運動を展開しつつ小説へのこだわりを持ち続け、1983年、「夢の壁」で第88回芥川賞を受賞します。その後も自然との共生を中心に、国籍と友情、家族などをテーマとした執筆に取組み、その視点は現代を生きる私たちに多くの示唆を与えてくれます。

ご逝去を悼み、生前の姿を偲びその仕事を振り返る小展示コーナーを、エントランスロビーの一角に設けました。ぜひ加藤幸子ワールドに親しんでいただければ幸いです。

2024年

4月12日(金)

～4月28日(日)

月曜休館、9:30～17:00

北海道立文学館 1階エントランスロビー

* 本は閲覧室でお読みいただけます。

観覧無料

